

高齢者のボランティアなどの社会活動に関するアンケート

実施概要

担当部局	実施期間	対象者数	回答者数	回答率
社会福祉室	2008年11月16日から 2008年12月08日まで	1143	807	70%

我が国の高齢者人口は総人口の20%を超え、いわゆる団塊の世代が高齢期を迎えるなど、前例のない超高齢社会を迎えています。

こうした中、明るく活力に満ちた高齢社会の確立をしていくために、高齢者の経験や知識、意欲を積極的に活かしていただく必要があると考え、三重県では、高齢者の社会活動を支援する各種事業を行っています。

このたび、三重県社会福祉室では、高齢者のボランティア（※）など地域における社会活動について、電子アンケートによりあらためて広く県民の皆様の関心や意識などご意見を聞かせていただき、今後の高齢者の社会活動に関する施策に反映したいと考えています。

（※ ここでは、ボランティア＝「人から強制されたり義務としてするのではなく、自らの自由な意志に基づいて行う主体的な社会活動や地域貢献活動のことをいいます。」）

■ Q1 社会貢献活動への意欲

あなたは、現在、地域でボランティア活動などの社会活動を行っていますか。または、行っていたことがありますか。

（「はい」と答えた方はQ4へ、「いいえ」と答えた方はQ2へお進みください。）

合計	807	
はい	252	31.2%
いいえ	555	68.8%

■ Q2 社会貢献活動を行っていない等の理由について

Q1で「いいえ」と答えた方にお聞きします。

活動していない理由は何ですか。あてはまるものを全てお選び下さい。（複数回答可）

合計	555	
仕事や家事で忙しいから	385	69.4%
自分の趣味や自由な時間を優先したいから	131	23.6%
身体的・健康上の理由でできないから	33	5.9%
金銭的余裕がないから	83	15.0%
興味や関心がないから	37	6.7%
活動を始めるきっかけがないから	234	42.2%
どのような活動をしていいかわからないから	187	33.7%
面倒だから	26	4.7%
その他	19	3.4%

■ Q3 将来的な活動の意欲

Q1で「いいえ」と答えた方にお聞きします。

現在、地域でボランティアなどの社会活動を行っていても、今後そうした活動をしたいと思いませんか。
 (「とてもしたい」及び「できればしたい」と答えた方はQ5へ、それ以外の方はQ6へお進みください。)

合計	555	
とてもしたい	13	2.3%
できればしたい	279	50.3%
できればしたくない	61	11.0%
したくない	28	5.0%
よくわからない	164	29.5%
その他	10	1.8%

■ Q4 現在行っている社会貢献活動の内容について

Q1で「はい」と答えた方にお聞きします。

どのような活動をされていますか。あてはまるものを全てお選び下さい。
 ()は例示

合計	252	
地域の伝承活動(獅子舞指導、しめ縄づくり指導、郷土料理講習会、郷土史研究など)	22	8.7%
芸術等の文化啓発活動(公共施設での生け花展示、各種イベントにおける演奏活動など)	33	13.1%
環境美化活動(地域の公共施設等のごみ拾いや清掃、花壇の整備、緑化活動など)	117	46.4%
防犯・防災活動(地域の自主防災活動、地域の見守り、夜警等安全パトロールなど)	78	31.0%
次世代育成・子育て支援活動(登下校の見守り、絵本の読み聞かせ、昔の遊び指導など)	48	19.0%
地域の観光活動・国際交流(観光ボランティア、日本語ボランティアなど)	18	7.1%
健康づくり・スポーツの普及啓発活動(ゆる体操普及啓発、軽スポーツ普及活動など)	46	18.3%
地場産業や農産業などの生産活動(味噌作り指導、田植えや野菜づくり指導、民芸品作成指導など)	10	4.0%
福祉活動(独居高齢者の訪問、福祉施設での対話ボランティア、朗読ボランティアなど)	46	18.3%
就業促進・支援活動(IT等によるパソコン操作指導、就業経験を活かしたビジネスサポートなど)	6	2.4%
その他	33	13.1%

■ Q5 今後したい社会貢献活動の内容について

Q1で「はい」と答えた方とQ3で「とてもしたい」「できればしたい」と答えた方にお聞きします。
今後どのような活動をしたいですか。あてはまるものを全てお選び下さい。
()は例示

合計	544	
地域の伝承活動（獅子舞指導、しめ縄づくり指導、郷土料理講習会、郷土史研究など）	84	15.4%
芸術等の文化啓発活動（公共施設での生け花展示、各種イベントにおける演奏活動など）	70	12.9%
環境美化活動（地域の公共施設等のごみ拾いや清掃、花壇の整備、緑化活動など）	199	36.6%
防犯・防災活動（地域の自主防災活動、地域の見守り、夜警等安全パトロールなど）	139	25.6%
次世代育成・子育て支援活動（登下校の見守り、絵本の読み聞かせ、昔の遊び指導など）	176	32.4%
地域の観光活動・国際交流（観光ボランティア、日本語ボランティアなど）	93	17.1%
健康づくり・スポーツの普及啓発活動（ゆる体操普及啓発、軽スポーツ普及活動など）	110	20.2%
地場産業や農産業などの生産活動（味噌作り指導、田植えや野菜づくり指導、民芸品作成指導など）	68	12.5%
福祉活動（独居高齢者の訪問、福祉施設での対話ボランティア、朗読ボランティアなど）	135	24.8%
就業促進・支援活動（IT等によるパソコン操作指導、就業経験を活かしたビジネスサポートなど）	75	13.8%
その他	26	4.8%

■ Q6 高齢者の社会貢献活動の必要性

高齢化が進む中、高齢者（「60歳以上の方を高齢者とする。」）の方が、地域においてボランティアなどの社会活動（有償活動も含む）を行うことは必要だと思いますか。次の中からお選び下さい。

合計	807	
必要である	331	41.0%
どちらかという必要である	357	44.2%
どちらかという不要である	16	2.0%
不要である	2	0.2%
関心がない（特に何も感じない）	18	2.2%
よくわからない	63	7.8%
その他	20	2.5%

■ Q7 高齢者の社会貢献活動を必要とする理由

地域において高齢者のボランティアなどの社会活動（有償活動も含む）が行われることで期待される効果は何だとお考えですか。
次の中からお選び下さい。（主なものを2つまで）

合計	807	
高齢者の生きがい・健康づくり（介護予防）	556	68.9%
文化・伝統行事を次世代に伝えること	175	21.7%
就業や経験によって培った知識や知恵を社会に還元すること	211	26.1%
地域の世代間交流、活性化	182	22.6%
高齢者の引きこもりや孤立を未然に防ぐこと	221	27.4%
人手不足・人材不足の解消	76	9.4%
公的サービスではできない又は期待できない部分を補うこと	88	10.9%
特になし	3	0.4%
よくわからない	17	2.1%
必要性を感じない	5	0.6%
その他	2	0.2%

■ Q8 高齢者の社会貢献活動を行う場合の問題点

高齢者がボランティアなどの社会活動を行うにあたり問題や障害となることは何だとお考えですか。
次の中からお選び下さい。（主なものを3つまで）

合計	807	
身体能力（視覚・聴力・脚力・腕力・運動能力）または健康上の問題	465	57.6%
個人的資質（記憶力・理解力・非社会的・コミュニケーション能力）の問題	314	38.9%
家庭の事情（家族の介護、子守り、家業が忙しいなど）	210	26.0%
一緒に活動する仲間がいないこと	149	18.5%
活動資金	200	24.8%
活動するための時間	38	4.7%
活動するきっかけがないこと	324	40.1%
ボランティアなどの社会活動に関心がない	101	12.5%
よくわからない	22	2.7%
問題や障害は特になし	21	2.6%
その他	10	1.2%

■ Q9 情報の入手媒体

自治体や各種団体が行うボランティア事業などの参加募集の周知方法について、どのような広報が有効だと思いますか。

次の中からお選び下さい。（主なものを2つまで）

合計	807	
県・市町の広報誌（県政だより、市政だよりなど）	460	57.0%
県・市町のホームページ	83	10.3%
知人からの依頼・口コミ	227	28.1%
あなたが所属する組織や団体（会社、老人クラブや青年団、任意の団体など）からの依頼やお知らせ	208	25.8%
県・市町・社会福祉協議会の職員からの直接の依頼や案内	206	25.5%
テレビ・ラジオ	88	10.9%
新聞・チラシ・ポスターなど	220	27.3%
よくわからない	6	0.7%
その他	11	1.4%

■ Q10 行政に対する要望等

県や市町が行う「高齢者の社会活動を支援する事業」について、どのような内容が有効または必要だと思いますか。

あてはまるものを全てお選びください。

合計	807	
既存の活動団体の活動内容の広報・周知	395	48.9%
高齢者ボランティアの人材バンクの設置及び運営	369	45.7%
活動資金の援助や活動する場の提供	291	36.1%
現にボランティア活動している方を対象にしたリーダー養成事業	128	15.9%
社会活動をしていない方を対象にしたボランティア養成講座の実施	189	23.4%
高齢者のボランティア活動に関する相談窓口の設置	198	24.5%
ボランティア活動だけでなく、収入につながる高齢者の雇用・就業を支援する事業	378	46.8%
行政が行う必要はない	12	1.5%
よくわからない	30	3.7%

各ページの記載記事、写真の無断転載を禁じます。
All Rights Reserved, Copyright(C)2006.Mie Prefecture